

令和7年度(2025年度)  
東北大学大学院環境科学研究科  
博士課程前期2年の課程 入試問題

(令和7年4月入学)  
〔一般選抜〕

専門科目  
環境・地理群  
(国際防災学)

令和7年3月4日 13:00~14:30 実施

注意事項

1. 机の上には受験票, 筆記用具, 時計以外は置いてはいけません。  
(電卓が必要な場合は申し出ること。)
2. 合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
3. 試験時間は13:00から14:30までです。
4. 問題冊子1部, 解答用紙(3枚), 草案用紙(1枚)を配布します。
5. 問題は1.から2.まで計2問が出題されていますが, すべてを解答して下さい。
6. 解答はすべて解答用紙に記入して下さい。  
解答用紙の所定の欄に問題番号および受験記号番号を明記して下さい。氏名は記入しないこと。また問題によって解答用紙を別にして下さい。
7. 問題冊子は持ち帰らないで下さい。

1. 災害リスクに関する以下の問に答えよ。

災害リスクは、以下によって決まるとされている。

Hazard (自然ハザードの特性)

Exposure (ハザードに暴露する人口、資産等)

Vulnerability (暴露する人口、資産等の脆弱性)

これら3つの要素のうちいずれか1つを選んで、その要素が災害リスクを増減させるメカニズムについて説明せよ。さらに、その要素に対してどのような災害リスク削減方策があるか具体例をいくつかあげ、それらの効果だけでなくコストや負の影響の観点からも説明せよ。

2. 仙台防災枠組に関する以下の問に答えよ。

2015年に仙台市内で開催された第三回国連防災世界会議において採択された仙台防災枠組 (Sendai Framework for Disaster Risk Reduction) では、優先行動として、以下の4つが主に挙げられている。

- ①災害リスクの理解
- ②災害リスク・ガバナンスの強化
- ③災害リスク削減のための投資
- ④より良い復興 (ビルド・バック・ベター)

これらのうちいずれか1つを選んで、実社会における問題点・課題を説明した上で、どのような取り組みが求められているのかについて説明せよ。